

7年生 学年目標決定！

【令和8年度入学生学年目標】

彩蓮（いろは）



9月10日、学年目標がついに決定！5月に行われた宿泊学習から始まり、一人ひとりの考えを大切にしながら話し合いを重ねてきました。この4ヶ月の間には、「なぜ学年目標を決めるのか」「そもそも学年目標は必要なのか」「個人目標で十分ではないか」など、意見の衝突や対立が起こったり、話し合いが足踏み状態になったりもしました。しかし、振り返ってみると、この期間があったからこそ、「一人ひとりの成長も大切にしながら学年として助け合って成長していきたい」という大切にしたい思いが明確になったのだと思います。

7年生の思いが詰まった「彩蓮」という学年目標、決定した瞬間には子どもたちから自然と拍手が起こりました。この拍手には、決定を喜ぶだけでなく、ここまで話し合いを重ねてきた仲間と頑張りを称え合う意味もあったように思います。これから7年生がどのように歩みを進め、どのような姿を見せてくれるのか、とても楽しみです。

「ついに決定！私たちの学年目標は——彩蓮！」

① 「彩蓮」に込めた思い

彩	蓮
・ 互いに消し合わず、一人では出せない多様な色 →「個性」を大切にしたい →相乗効果を生み出すには「協調性」も大切	・ 蓮の葉や根のようにつながる →「協調性」「一人ひとりが集まって協力・団結」 ・ 泥の中から伸びて花を咲かせる →目標に向かって力強く歩みを進めていく
・ いろは歌の始まり「いろは」 →重なりがなく、どれが欠けても成立しない歌のように、個人の目標を尊重しつつ全員で一つになる。	

② 学年目標決定まで

私たち令和8年度入学生の学目『彩蓮』。学目決めには、今までで一番と言われるほどの長い時間がかかった。しかしその分、練りに練って学目決めを進めてきた。そんな私たちの学目決定までの軌跡を紹介する。

5月、宿泊学習では『学目の必要性とは？』をメインの問いにして話し合ってきた。実行委員（社実）はこれまでの先輩方の学目を決めることに対する思いや価値を探ってほしい、という思いがあった。だがこの問いが『〇〇だから必要』『△△だからいらない』のような『学目はあるか、いらないか』の討論へとつながってしまった。この討論に夏休みまでの社創の時間の多くを費やしてしまう。この『いらない派』の意見は個人目標をより大切にすべき、というものだ。

その後、個人目標を達成するためには周りの手助けも必要。ならお互いに助け合える共通の目標『学目』が必要なのでは？という見方から、いよいよ学目の言葉について考えることになった。ここから大切にしたい思いを『団結』『協力』『仲間』『個性』『協調性』の5つに決め、その視点からもう一度学目案を見直すことにした。その後も私たちは全員が納得する学目を作り上げるために、話し合いを重ね選び抜いた学目を決定することができた。9月10日私たちは学目を『彩蓮（いろは）』に決めた。

